家計改善支援事業における令和5年度の実績報告及び令和6年度の進捗状況

項目	令和5年度の実績	令和5年度の実績	令和6年度の実績	令和6年度の進捗（7月末時点）
周知・啓発	<p>①リーフレットの内容を適宜点検し、必要に応じて修正、作成する。</p> <p>②家計改善支援事業の事業説明会を開催する。</p> <p>③将来的に生活困窮に陥ることのないように事業周知と啓発を行う。</p> <p>④家計以外の問題が見える場合は、各専門機関と連携を図りより良い支援を行う。</p>	<p>【実績】</p> <p>①内部に向けての事業説明会を2回行った。</p> <p>②就労準備支援事業主催のつどい場「くろまつ」にて、社会的孤立へのアプローチとして税金の使い方等の講座を5回開催し、講師を務めた。</p> <p>③内部に向けて債務整理勉強会を開催し、47名の参加実績となった。</p> <p>④阪神7市、丹波篠山市生活困窮者自立支援制度担当者会にて事業説明を行った。</p> <p>⑤県立高校にてライフプランニングに関する講座を開催し、計30名（教員6名、生徒24名）の参加となった。</p> <p>⑥チーム「Yoake」のパンフレットを500部作成し、窓口への設置や関係機関に配布した。</p> <p>【評価】</p> <p>①家計改善支援事業単独での説明会を開催でき、事例を含めた事業説明を行ったことで十分な理解につながった。</p> <p>②債務整理の基本的理解と債務に関する知識、スキルの向上につながった。</p> <p>③事業の必須化に向けて関心が高まる中、他市への理解を深められた。</p> <p>④若い世代に向けて情報発信し、将来の生活困窮の抑止につながる取組ができた。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も継続して様々な機関への周知や啓発が必要である。</p>	<p>①リーフレットの内容を適宜点検し、必要に応じて修正、作成する。</p> <p>②家計改善支援事業の事業説明会を適宜開催する。</p> <p>③将来的に生活困窮に陥ることのないように事業周知と啓発を行う。</p> <p>④福祉学習を通してお金に関する啓発活動を行う。</p> <p>⑤家計以外の問題が見える場合は、各専門機関と連携を図りより良い支援を行う。</p>	<p>【実績】</p> <p>①リーフレットのデザインを刷新した。（9月より配布する。）</p> <p>②就労準備支援事業主催のつどい場「くろまつ」にて社会的孤立へのアプローチとして講座を1回開催し、講師を務めた。</p> <p>③ひきこもり相談会を開催した。</p> <p>④第2回内部研修の開催に向け計画を進めている。</p> <p>⑤社会福祉協議会と連携し、福祉学習の分野に新たに「家計」を追加した。</p> <p>【評価】</p> <p>①リーフレットをより手に取ってもらいやすいデザインに変更することができ、今後の相談件数増加につながるものと期待できる。</p> <p>②福祉学習に新たに追加できたことは、若い世代の金融リテラシー向上に向けた情報発信と将来的な生活困窮の予防につながっていくものと考えられる。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も引き続き様々な機関への周知や啓発を行い、連携していくことが必要である。</p>
支援内容	<p>①家計支援ツールを使用し、支援を実施する。</p> <p>②相談者への支援を通して、必要に応じて同行支援を行う。</p> <p>③相談者の状況に応じて、各所での出張相談を行う。</p> <p>④次回収入までの緊急的な支援として、必要に応じて食糧支援を行う。</p>	<p>【実績】</p> <p>①弁護士相談2回、税務相談1回、債権管理課14回、保険課15回、年金窓口1回、生活支援課1回課税課1回、障がい福祉課1回、高齢介護課1回、水道お客様センター5回、ハローワーク1回、銀行同行1回、合計44回の同行支援を行った。</p> <p>②自宅訪問を3回実施した。</p> <p>③社会福祉協議会と連携し、生活相談会を開催。出張相談と20世帯へ食糧支援を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>①収納関係課への同行支援において、保険課や債権管理課の窓口担当者に家計表を配布し、相談者の家計の現状を踏まえた今後の納付計画を見える化することで、納付相談を円滑に進めることができた。</p> <p>②滞納金について、家計支援ツールを使用した支払い計画書の作成や同行支援により、今年度は2,622,805円の支払いの支援ができた。</p> <p>③内、公租公課は総額2,523,920円で占める割合は約96.2%となり、生活困窮者支援を通じて収税にむすびついた。（事業開始累計3,510,762円）</p> <p>【課題】</p> <p>①納税の意思がない方に向けて、どのようにご理解をいただき、円滑な納税に結び付けられるかが課題である。</p>	<p>①家計支援ツールを使用し、支援を実施する。</p> <p>②相談者への支援を通して、必要に応じて同行支援を行う。</p> <p>③相談者の状況に応じて、各所での出張相談を行う。</p> <p>④次回収入までの緊急的な支援として、必要に応じて食糧支援を行う。</p>	<p>【実績】</p> <p>①弁護士2回、債権管理課4回、保険課3回、水道お客様センター1回、携帯電話店1回、合計11回の同行支援を行った。</p> <p>②自宅訪問を1回実施した。</p> <p>【評価】</p> <p>①収納関係課への同行支援において、保険課や債権管理課の窓口担当者に家計表を配布し、相談者の家計の現状を踏まえた今後の納付計画を見える化することで、納付相談を円滑に進めることができた。</p> <p>②滞納金について、家計支援ツールを使用した支払い計画書の作成や同行支援により、今年度は237,273円の支払いの支援ができた。</p> <p>③内、公租公課の占める割合は約68.9%で、総額163,510円となり、生活困窮者支援を通して収税にむすびついた。（事業開始累計3,748,035円）</p> <p>【課題】</p> <p>①債務や滞納額が多額になる前に、いかにつながり、早期の解決を実現するかが課題である。</p>
各種協議	<p>①月1回開催の定例支援調整会議に参加する。</p> <p>②毎月第2金曜日開催の総合相談連絡会に参加する。</p> <p>③年2回開催の事例検討会に参加する。</p> <p>④年2回（7月、2月）開催の多機関協働推進委員会に参加する。</p> <p>⑤個別ケースでの支援検討会を開催する場合、参加する。</p>	<p>【実績】</p> <p>①定例開催の会議等に参加し、他機関との情報共有を行った。</p> <p>②事例検討会に参加し、関係機関と共に個別ケースについて検討を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>①他機関の支援員等に家計の現状を定量的に評価してもらえるようになり、円滑に支援へつなげることができた。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も継続して周知等を行い、他機関からつながりやすい環境作りを行う。</p>	<p>①月1回開催の定例支援調整会議に参加する。</p> <p>②毎月第2金曜日開催の総合相談連絡会に参加する。</p> <p>③年1回開催の事例検討会に参加する。</p> <p>④3ヶ月に1回開催の多機関協働支援会議に参加する。</p> <p>⑤年1回開催の生活困窮者自立支援専門部会に参加する。</p> <p>⑥個別ケースでの支援検討会を開催する場合、参加する。</p>	<p>【実績】</p> <p>①定例開催の会議等に参加し、他機関との情報共有を行った。</p> <p>【評価】</p> <p>①多機関協働支援会議にてペアワーク等を通じ幅広く意見交換することができ、支援に活かすことができた。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後もディスカッションの場に継続して参加し、多角的な視点で支援を行っていく必要がある。</p>
支援体制の強化	<p>①国、県が開催する研修に、可能な限り参加をする。</p> <p>②グリーンコープ独自で行う事例研修会等に、可能な限り参加する。</p> <p>③オールグリーンコープでの共有される情報を確認し、支援提供に活かす。</p>	<p>【実績】</p> <p>①専門的分野セミナー「障がい者と仕事における法律相談の活用について」</p> <p>②テーマ別研修 孤独・孤立の理解とアウトリーチ相談支援</p> <p>③生活困窮者自立支援制度におけるブロック別研修</p> <p>④芦屋市研修「家賃滞納者への支援」</p> <p>【評価】</p> <p>①研修の内容を相談に活かすことができた。</p> <p>②情報共有について都度内容を確認し、支援に活用した。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も可能な限り研修等へ積極的に参加し、相談支援に活かしていきたいと考えている。</p>	<p>①国、自治体が開催する研修に、可能な限り参加をする。</p> <p>②グリーンコープ独自で行う事例研修会等に、可能な限り参加する。</p> <p>③オールグリーンコープでの共有される情報を確認し、支援提供に活かす。</p>	<p>【実績】</p> <p>①「ひきこもり支援施策の動向と、本人及び家族への支援実践について」市町村セミナーへの参加。</p> <p>【評価】</p> <p>①研修の内容を日常の相談支援に活かすことができた。</p> <p>②情報共有について都度内容を確認し、支援に活用した。</p> <p>【課題】</p> <p>①今後も可能な限り研修等へ積極的に参加し、相談支援に活かしていきたい。</p>